

## 「アセスメントシート」 Q & A

※ 平成23年度調査研究発表会第7分科会における質疑応答を基に作成しました。



アセスメントシートを使うことで、  
どのようなことが分かりますか？



アセスメントシートは、通常の学級の教師が、児童生徒の学習の様子から、児童生徒がつまづいている「読む」、「書く」などの領域やつまづきの要因である認知の特性等について、把握できるようにすることをねらっています。



認知の特性とは何ですか？



認知とは、視覚や聴覚といった感覚を通して得られる情報を基にして行われる情報の処理過程のことです。  
このような感覚や認知の働きには、児童生徒それぞれ  
の特性があり、場合によっては、学習上のつまづきの要  
因になると考えられます。



アセスメントシートから得られる  
情報は客観的なデータですか？



いいえ、アセスメントシートは標準化された検査で  
はないので、得られる情報は、あくまでも「仮説」や  
「見立て」であると捉えてください。



チェックは、一人の教師がしたほうがいいのか？  
それとも、複数の教師でしたほうがいいのか？



特にきまりはありませんが、より多くの教師が複数の  
視点でアセスメントを行い、話し合うことで、児童生徒  
に対する指導・支援が更に充実することが期待できます。



アセスメントシートで、児童生徒の成長や変容を把握することはできますか？



アセスメントシートは、児童生徒の認知の特性等を理解する視点であることから、単純にグラフを比較して成長の度合いを判断することは適切ではありません。

児童生徒の成長や変容を発達的に把握するためには、アセスメントシートだけでなく、教師の指導・支援の手立てと併せて分析することが必要です。



全ての児童生徒に対して、アセスメントシートによるチェックをする必要がありますか？



アセスメントシートは、学習上のつまずきがある児童生徒に対するアセスメントの方法の一つです。全ての児童生徒に対してチェックをする必要はありませんが、チェック項目を参考に、日頃の児童生徒の様子を観察することは、児童生徒のつまずきに気付くための有効な方法です。



全てのつまずきの項目についてチェックをする必要がありますか？



日頃の様子から、児童生徒が特につまずいていると思われる領域の項目だけチェックしても構いません。その場合、得られる情報が少ないので、「アセスメントの観点例」を参考に、より多くの情報を集めることが大切です。



アセスメントシートの活用後、WISC-Ⅲなどの心理検査をする必要がありますか？



心理検査の実施に当たっては、慎重に検討する必要があります。検査の目的を明確にするほか、正しい検査の実施と分析が可能であることや保護者・本人の同意があることなどの要件があります。アセスメントシートや日頃の行動観察で、指導・支援の手立てを検討することが可能であれば、必ずしも心理検査を行う必要はありません。